

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)

【公開番号】特開 2016-149804 (P2016-149804A)

【公開日】平成 28 年 8 月 18 日 (2016.8.18)

【年通号数】公開・登録公報 2016-049

【出願番号】特願 2016-86424 (P2016-86424)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/64 (2006.01)

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

H 0 4 N 5/66 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/64 5 7 1 Z

G 0 2 F 1/1333

H 0 4 N 5/66 1 0 2 Z

G 0 9 F 9/00 3 5 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 20 日 (2016.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示パネルと、

一面側の一部に凹部を有する基板取付部と、

前記凹部に配置され、第 1 端子を有する回路基板と、

底面部と、前記底面部の外周縁から延び、第 1 開口部を有する第 1 側面部とを有する力
バー部とを備え、

前記第 1 側面部の端部は、前記凹部の開口縁の近傍に位置し、

前記第 1 端子は前記第 1 開口部に位置する、表示装置。

【請求項 2】

前記凹部は前記表示パネルの長手方向の略中央に位置する、請求項 1 に記載の表示装置
。

【請求項 3】

前記凹部は前記表示パネルの短手方向の下方に位置する、請求項 1 または 2 に記載の表
示装置。

【請求項 4】

前記第 1 開口部は、前記表示パネルの長手方向の中央と端部との間に位置する、請求項
1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記第 1 側面部の前記第 1 開口部を有する面は、前記表示パネルの短手方向と略平行で
ある、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記第 1 側面部は、前記底面部に対し略垂直である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記
載の表示装置。

【請求項 7】

前記第 1 端子は、前記第 1 開口部を介して、前記カバー部の外部に露出するように配置されている、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 8】

前記底面部は矩形状であり、前記第 1 側面部は前記底面部の第 1 辺から延び、
前記カバー部は、前記第 1 辺に平行な前記底面部の第 2 辺から延びる第 2 側面部を有し

、
前記底面部に対する前記第 2 側面部の傾斜角は、前記底面部に対する前記第 1 側面部の傾斜角と異なる、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 9】

前記第 2 側面部は、前記凹部の側面に接触する、請求項 8 に記載の表示装置。

【請求項 10】

前記基板取付部は、前記底面部に向かって突出し、前記回路基板を載置する凸部を有する、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 11】

前記基板取付部は金属製である、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 12】

前記回路基板は第 2 端子を有し、

前記底面部は第 2 開口部を有し、

前記第 2 端子は前記第 2 開口部に位置する、請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この発明の一の局面による表示装置は、表示パネルと、一面側の一部に凹部を有する基板取付部と、凹部に配置され、第 1 端子を有する回路基板と、底面部と、底面部の外周縁から延び、第 1 開口部を有する第 1 側面部とを有するカバー部とを備え、第 1 側面部の端部は、凹部の開口縁の近傍に位置し、第 1 端子は第 1 開口部に位置する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記一の局面による表示装置において、好ましくは、凹部は表示パネルの長手方向の略中央に位置する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記一の局面による表示装置において、好ましくは、凹部は表示パネルの短手方向の下方に位置する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記一の局面による表示装置において、好ましくは、第1開口部は、表示パネルの長手方向の中央と端部との間に位置する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記一の局面による表示装置において、好ましくは、第1側面部の第1開口部を有する面は、表示パネルの短手方向と略平行である。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記一の局面による表示装置において、好ましくは、第1側面部は、底面部に対し略垂直である。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記一の局面による表示装置において、好ましくは、第1端子は、第1開口部を介して、カバー部の外部に露出するように配置されている。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記一の局面による表示装置において、好ましくは、底面部は矩形状であり、第1側面部は底面部の第1辺から延び、カバー部は、第1辺に平行な底面部の第2辺から延びる第2側面部を有し、底面部に対する第2側面部の傾斜角は、底面部に対する第1側面部の傾斜角と異なる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記一の局面による表示装置において、好ましくは、第2側面部は、凹部の側面に接触する。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記一の局面による表示装置において、好ましくは、基板取付部は、底面部に向かって突出し、回路基板を載置する凸部を有する。上記一の局面による表示装置において、好ましくは、基板取付部は金属製である。上記一の局面による表示装置において、好ましくは、回路基板は第2端子を有し、底面部は第2開口部を有し、第2端子は第2開口部に位置する。